

同軸(BNC)のテスト(導通チェック)

1 電源ON

本体のPOWERスイッチを「ON」にします。
ブザーが「ピー」と鳴り、POWER LEDが点灯します。

2 ケーブル接続

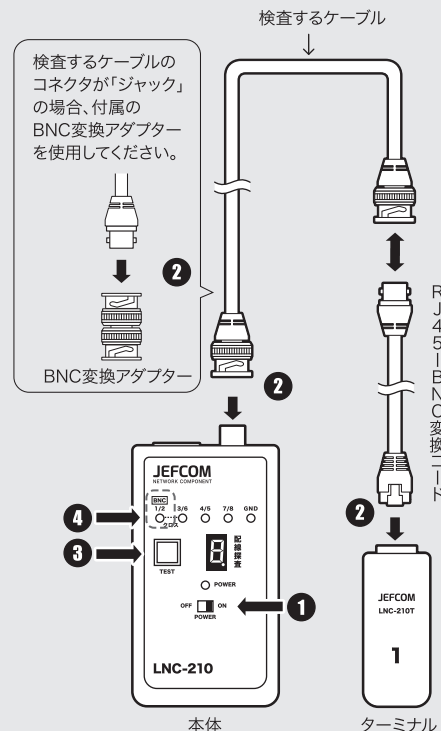
ターミナルのモジュラーソケットにRJ45-BNC変換コードを差し込みます。
本体とターミナルの間に、検査する同軸ケーブルを接続します。
「カチッ」と音がするまで差しこみます。
必要に応じてBNC変換アダプターを使用します。

3 測定開始

本体のTESTスイッチを押すと測定を開始します。

4 結果表示

導通チェックLEDとブザー音により、導通チェックの結果が表示されます。



LED	ブザー	配線結果
1/2 点灯	ピー 1回鳴動	正常結線
1/2 消灯	ピー 1回鳴動	オープン・未接続
1/2 点滅	ピッピッ 2回鳴動	ショート
1/2 点滅	ピッピッピッ 3回鳴動	誤配線



注意

- 端末番号は表示しません。
- LED表示は約5秒で消灯します。(パワーセーブ機能)



LNC-210 LANチェッカー

取扱説明書

このたびは、LANチェッカー LNC-210をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用にあたっては、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。



警告

- 被測定線が活線状態、及び負荷を接続した状態で本器を接続しないでください。
- 本器を無断で改造したり分解しないでください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 子供には手を触れさせないでください。



注意

- 使用を開始する前に本器の外観構造に異常がないかを確認してください。
- 不適合なコネクタ(RJ45以外)及び不適切な圧着をしたコネクタは挿入しないでください。
- 保管する場合は直射日光の当たらない所に保管してください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- LANケーブルの抜き差しは十分注意してください。乱暴な取扱いや圧着の不完全なケーブルでの使用は避けてください。モジュラーソケットが破損する恐れがあります。
- 電池は付属しておりません。新しいアルカリ乾電池(006P 9V)をお買い求めください。

特長

1. LANケーブルの導通チェックと配線探索が同時に行える
2. 4本までのケーブルの識別が可能
3. ケーブル布設後の離れた位置でもチェックOK
4. BNC配線の導通チェックが可能
5. 結果を音と光で表示
6. オープン、ショート、誤配線、クロスケーブルの検出が可能
7. ローバッテリー表示付(電池残量が少ない時「POWER LED」点滅)
8. パワーセーブ機能

用途

本器は、LAN配線の探索・導通チェック及びBNC配線の導通チェックができます。
新設工事、リニューアル工事、アフター工事等における配線チェックに威力を発揮します。

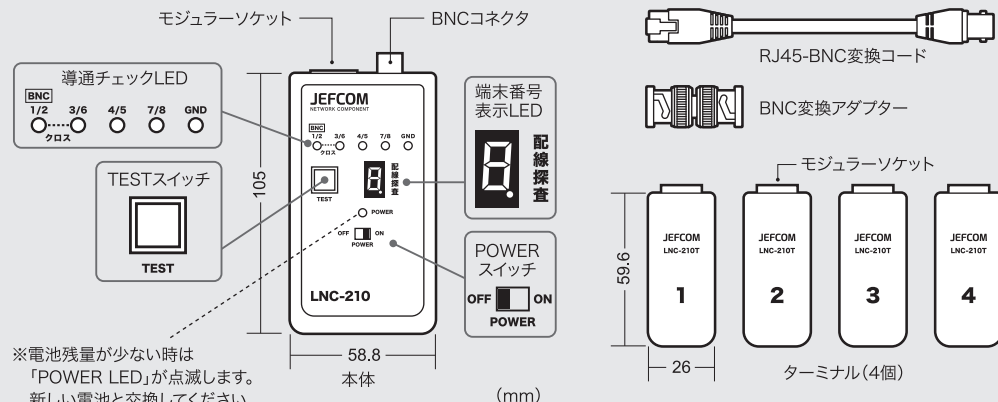
仕様

- 使用電池:006P 9V (電池は付属しておりません)
- 電池寿命:約8時間(アルカリ乾電池)
- 使用温度範囲:0~40℃(80%RH 以下)
- 質量:本体 95g(電池含まず)、ターミナル 各20g

セット内容・各部名称

セット内容

- 本体
- ターミナル(4個)
- RJ45パッチコード(2本)
- RJ45-BNC変換コード
- BNC変換アダプター
- 収納バッグ



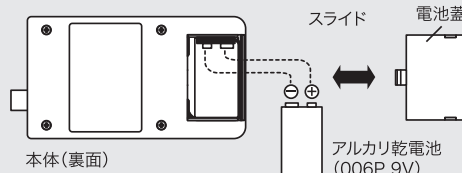
※電池残量が少ない時は「POWER LED」が点滅します。新しい電池と交換してください。

電池のセット

初めに本体の電池蓋を外し、電池の＋を合わせてセットしてください。ご使用にならない時は、POWERスイッチを「OFF」にしてください。

注)電池交換を行うときは、POWERスイッチを「OFF」にして、モジュラーソケットには何も接続しないでください。

注)アルカリ乾電池(006P 9V)をご使用ください。



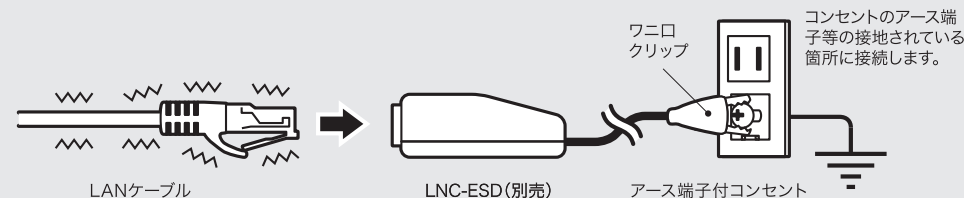
ご使用の前に

●LANケーブルは自然に静電気が帯電します。さらに、移動する際や、汚れを拭き取る際におこる摩擦によっても帯電します。帯電した状態のLANケーブルを機器に接続すると、接続する瞬間に静電気放電が発生します。これにより、接続する電子機器の誤動作や半導体素子に損傷を与え、破損する恐れがあります。LANケーブルを機器に接続するときは、安全のため必ず静電気の除去を行ってください。

●静電気除去には、当社製品「LANケーブル静電気除去器(LNC-ESD)」の使用を推奨します。LNC-ESD(別売)は、LANケーブルに帯電した静電気を簡単に除去できます。

●LNC-ESD(別売)の使用方法

- ①本器のワニ口クリップを、アースに接続してください。
- ②除電するLANケーブルが、機器等に接続されていないことを確認してください。
- ③LANケーブルのモジュラープラグを、本器に差し込み約30秒経過後に抜いてください。これで除電されます。
- ④除電したLANケーブルは、速やかに機器等に接続してください。



使用方法 その1

LANケーブルのテスト(導通チェックと配線探索)

1 電源ON

本体のPOWERスイッチを「ON」にします。ブザーが「ピー」と鳴り、POWER LEDが点灯します。

2 ケーブル接続

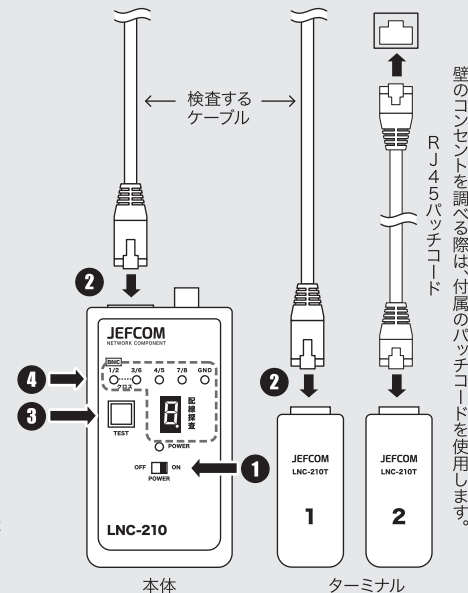
本体、ターミナルのモジュラーソケットにケーブルのプラグを差し込みます。「カチッ」と音がするまで差しこみます。壁のコンセントを調べる際は、付属のパッチコードを使用します。

3 測定開始

本体のTESTスイッチを押すと測定を開始します。

4 結果表示

端末番号表示LEDに接続されたターミナルの番号が表示されます。導通チェックLEDとブザー音により、導通チェックの結果が表示されます。



壁のコンセントを調べる際は、付属のパッチコードを使用します。

LED	ブザー	配線結果
1/2 3/6 4/5 7/8 ● ● ● ● 全て点灯	ピー 1回鳴動	正常結線 ストレートケーブル
1/2 3/6 4/5 7/8 ● ○ ● ● 消灯あり	ピー 1回鳴動	オープン・未接続 消灯しているLEDのペア線がオープン
1/2 3/6 4/5 7/8 ※ ※ ● ● 点滅あり	ピッピッ 2回鳴動	ショート 点滅しているLEDのペア線がショート
1/2 3/6 4/5 7/8 ※ ○ ○ ※ 点滅あり	ピッピッピッ 3回鳴動	誤配線 点滅しているLEDのペア線が誤配線
1/2 3/6 4/5 7/8 ※ ※ ○ ○ 1/2と3/6が交互点滅	ピー 1回鳴動	クロスケーブル



注意

- 端末表示は、ストレートケーブル・クロスケーブルのみ行います。オープン・ショート・誤配線の場合は、端末番号を表示しない場合があります。
- シールド付ケーブルの場合は、「G」のLEDが点灯します。
- LED表示は約5秒で消灯します。(パワーセーブ機能)
- クロスケーブル(1000BASE-T)の場合は誤配線の表示になります。